

# まちづくり

Vol. 226  
(H26. 10. 10)

北海道開発局都市住宅課  
まちづくり相談窓口

## メールニュース

今  
号  
の  
記  
事

- 平成26年度住生活月間功労者の表彰
- 日本都市計画学会北海道支部研究発表会の開催
- 北広島団地活性化セミナー「地域と学生が創る元気なまち」の開催

まちづくりに関して紹介したい地域の取組、配信アドレスの変更等については、まちづくり相談窓口(メールはこちら)まで

※配信希望は随時受け付けております。

各項目の○を  
クリックすると  
各項目見出しに  
ジャンプします

## 平成26年度住生活月間功労者の表彰

### ～夕張市と稚内市が受賞～

国土交通省では、第26回「住生活月間」の行事の一環として、住意識の向上、ゆとりある住生活の実現及び建築物の質の向上を図るため、各分野において活躍された個人・団体に対し、国土交通大臣表彰及び住宅局長表彰を行うこととしています。

このたび、本年の功労者表彰を決定し、国土交通大臣表彰22件、住宅局長表彰9件について、表彰状及び感謝状を贈呈する予定です。道内からは、夕張市が国土交通大臣表彰、稚内市が住宅局長表彰を受賞しましたので、その概要をご紹介します。

※全国の表彰者等の情報については、[国土交通省HP](#)をご覧ください。

(参考：住生活月間)

国土交通省では、豊かな住生活の実現に資する総合的な啓発活動を推進するため、平成元年から毎年10月を「住宅月間」と定め、関係団体により構成される実行委員会を中心に各種行事を実施してきました。

平成18年に制定された「住生活基本法」及び「住生活基本計画(全国計画)」の趣旨を踏まえ、平成19年度から名称を「住生活月間」に改め、より広範な関係機関・団体の参加を得て、総合的な啓発活動を展開しています。

今年度も、国民の豊かな住生活の実現を図るため「住生活月間」を実施し、シンポジウム等を通じて、国民の住生活の向上に役立つ様々な情報を提供しています。

## 夕張市<sup>あゆみ</sup>営住宅歩団地

(国土交通大臣表彰)

### 【規模等】

建設年度	平成23～24年度
敷地面積	14,522㎡、床面積2,328㎡
構造・階数	木造平屋建
住戸タイプ	1～3LDK(6棟28戸)



歩団地がある夕張市清水沢地区は、公営住宅の管理戸数の55%が集中しており、「夕張市まちづくりマスタープラン」において、医療・福祉・教育・生活利便施設等の集約を図る

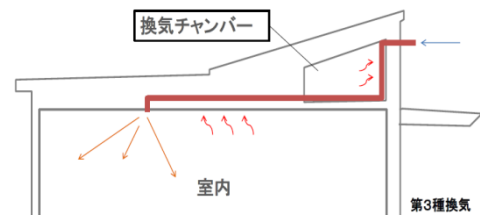
べき都市拠点として位置付けられています。

歩団地は、散在していた施設を集約するコンパクトシティに向けた取組の第一段階として整備された木造平屋建ての団地。人口減少に対応した都市集積のモデルとして評価されました。

また、入居者のほとんどが高齢者であるため、ユニバーサルデザインの採用や在宅介護への配慮、多様な住まい方へ対応できる柔軟性を確保した平屋建て住宅。構造材や外装材等に市有林から伐採したカラマツ材を88%使用し、残りの木材も道産材を使用するなど、地域木材産業の振興、地域経済の活性化促進に寄与していることも評価されました。（右写真）



第3種換気設備による便所及び浴室からの24時間換気は、外気を二重天井内の換気チャンバーに入気し、天井面からの室内熱で暖め、収納天井から室内に給気するシステムとしており、省エネと維持管理について、配慮されています。（右図）



工法は、地元業者が施工できるように特殊な構造部材を要しない統一モジュールを標準とする在来工法を採用するとともに、構造面においても住戸内に耐力壁を設けず、外周壁の面材で構造耐力を確保し、補強材、金物等及び基礎施工の減少によるコスト削減を行っています。

夕張市では、2013年度までに合計87戸の公営住宅を清水沢地区に整備済みであり、住宅ストックを活用した魅力的な生活環境の創出を図るとともに、新たな都市拠点及び交流拠点機能の強化と雇用創出に向けた地域活力を生み出す環境づくりを目指しています。

## ほらい 稚内市営住宅宝来団地

（住宅局長表彰）

### 【規模等】

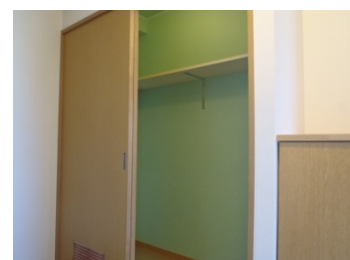
建設年度	平成15～24年度
敷地面積	14,522㎡、床面積2,328㎡
構造・階数	RC造10階建
住戸タイプ	2DK、2～3LDK（2棟80戸）



宝来団地は、道内で初めて公営住宅の共用部分に蓄電池式太陽光発電を取り入れ、自然エネルギーを活用した先進的な団地です。

隣接地に整備した宝来活動拠点センターにおいて、地域住民との交流を活性化させる各種イベントを数多く実施しており、地域が一体となる新たなコミュニティ環境を構築し、著しく人口減少していた宝来地区における地域再生とまちなか居住の推進に寄与しています。

内装材には、調湿機能を持つ稚内珪藻岩けいそうけつがんを使用した石膏ボードを採用し、地場産材の積極的な活用を図っており、地域経済の活性化に貢献していることも評価されました。（右写真）



## 日本都市計画学会北海道支部研究発表会の開催

日本都市計画学会北海道支部は、都市計画に関する日頃の研究内容や実践活動を発表する機会を広く設けることを目的とし、今年で3回目となる「2014年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会」を開催します。

研究発表される内容は、ポスターセッションと研究発表セッションによる2つの形式で行われます。ポスターセッションは現在募集中ですが、会員・研究論文に限ることなく、都市・地域づくりの現場における実用性に寄与する実務報告や実践報告も応募が可能。都市計画に関連する分野の方々の情報交換や交流の機会となることが期待されています。

日 時	2014年11月29日(土) 13:00~17:00
場 所	札幌市民ホール 第1・2会議室(札幌市北区北1条西1丁目)
参加費	500円(資料代含む)
プログラム	
13:00-14:00	ポスターセッション
14:00-15:00	基調講演 太田 清澄 日本都市計画学会北海道支部長 「『都市と田園』構想」
15:00-17:00	研究発表セッション(発表者とタイトル未定:昨年度の件数は9つ) 優秀ポスターの表彰式
17:30-	懇親会

### ◇研究発表テーマ

本年度から5年間の統一テーマ : 「都市と田園」  
 本年度(平成26年度)のサブテーマ : 「景観とまちづくり」  
 その他: テーマを設けていない「一般部門」も有り

### ◇研究発表会のポスター発表への応募締切【10月17日(金)】

### ◇聴講および懇親会の応募締切【11月18日(火)まで】

詳細は[日本都市計画学会北海道支部HP](#)をご覧ください。



昨年度の記念講演「フラノマルシェとまち育て」(写真左)とポスターセッション(写真右)の様子

問い合わせ先:

日本都市計画学会北海道支部 研究発表会 実行委員会(担当:花岡)

Tel: 011-706-5410、Fax: 011-706-5362

Mail: kenkyu@cats.hokudai.ac.jp

## 北広島団地活性化セミナー 「地域と学生が創る元気なまち」の開催

北海道石狩振興局、北広島市、道都大学は、10月23日(木)、学生と住民が協働したまちづくりを活発にするため、北広島市広葉交流センター(愛称「いこ〜よ」)で、北広島団地活性化セミナー「地域と学生が創る元気なまち」を開催します。

北広島市広葉交流センター「いこ〜よ」は、小学校跡施設を改修し、新たな世代間交流、地域コミュニティの拠点施設として、今年7月にオープンした施設。施設内には、道都大学サテライトキャンパスが開所し、夏休み中の小学生の勉強を手伝う取組などが始まりました。

「サテライトキャンパスで地域の方と交流したい」  
「こんな活動が地域で始めると面白い」

学生と地域住民が考える協働まちづくりのきっかけとして、参加してみたいかがでしょうか。



- ・日時 平成26年10月23日(木) 13時30分~16時00分
- ・会場 北広島市広葉交流センター 2階研修室(北広島市広葉町3丁目1)
- ・内容 講演 「学生のまち・金沢」の推進について  
金沢市市民協働推進課・金沢学生のまち市民交流館 柿本 紀希 氏

### パネルディスカッション『地域と学生が創る元気なまち』

【パネリスト】 金沢市市民協働推進課・金沢学生のまち市民交流館 柿本 紀希 氏  
北広島団地 第2住区地域のお茶の間 運営委員長 寺岡 和彦 氏  
道都大学社会福祉学部社会福祉学科 4年生 山田 崇仁 氏  
道都大学社会福祉学部社会福祉学科 4年生 渡邊 岳陽 氏  
北広島市企画財政部政策調整課 課長 川村 裕樹 氏

【コーディネーター】 道都大学経営学部 学部長 山本 一彦 氏

- ・定員 100名(入場無料、要事前申込)
- ・申込締切 10月20日(月)

申込方法等の詳細は、[北海道石狩振興局HP](#)をご覧ください。

問合せ先

石狩振興局産業振興部建設指導課 電話：011-204-5804

北広島市企画財政部政策調整課 電話：011-372-3311(内線741)